

図書館だより

第5号

奈良県立商業高校図書館
令和5年9月発行



リレーコーナー

「AI vs.教科書が読めない子どもたち」 商業科 今西 敦志

最近よく耳にする ChatGPT など、技術の進歩はすごいと感心していた時に、この本が目にとまり手に取りました。この本の著者である新井紀子さんは、2011年より「ロボットは東大に入れるか」と名付けた人工知能プロジェクト、通称「東ロボくん」を始めました。このプロジェクトの本当の目的は、東大に合格するロボットを作るのではなく、AIにはどこまでの事が出来るようになって、どうしても出来ない事は何かを解明する事でした。結果的に偏差値を57程度まで向上させることが出来ました。それ以上は困難であると分かりました。なぜかという、AIは所詮コンピュータ、つまり計算機なので、数式に置き換えられる事しか安定して正解できませんでした。数式に置き換えられる事とは、「論理的」「統計的」「確率的」に言える事の3つです。この3つに当てはまらないような、文章の意味を理解する「読解力」を必要とする問題で、東ロボくんは苦戦しました。ChatGPTも、質問の意味を理解しているわけではなく、質問の仕方によっては意味を理解していないようなおかしいな解答になる場合があります。

著者は東ロボくんプロジェクトと同時に中高生に読解力を測るテストを実施しました。その結果中高生の段階で、教科書の内容を理解できる読解力が十分身に付いていないことが分かりました。文章を読んでその意味をきちんと理解するという事が、実はちゃんと出来ていなかったという結果でした。AIが苦手とする仕事に、高度な読解力と常識を基盤としたコミュニケーション能力を必要とする仕事や、理解力を求められる仕事、人間らしい柔軟な判断が要求される仕事があります。そういった仕事に就くためには学生の時から、一を聞いて十を知る能力や応用力、柔軟性、枠に囚われない発想力など、AIには真似の出来ない力を身に付けていく事が大切だと思いました。

この本を読むことで、AIの長所と短所が分かり、AIに代替されない人材になるために、私たちが身に付けるべき力は何なのかが分かると思います。

秋の七草

「秋の野に 咲きたる花を 指折り(およびをり) かき数ふれば 七種(ななくさ)の花」
はぎ はな おぼな くずはな なでしこ はな おみなえし ふじばかま あさかお はな
「萩の花 尾花 葛花 撫子(なずな)の花 女郎花 また藤袴 朝貌(あさかお)の花」(『万葉集』山上憶良)

県内高校生に人気のある本特集(令和4年度)



9月の本を展示しています(カレンダー本だよ!)

AI
VS.
教科書が読めない
子どもたち
Artificial Intelligence vs. Children who can't read textbooks
新井紀子

人工知能は
すでに
MARCH
合格レベル
勝つために
人間が
必要

東洋経済新報社



絵の本ひろば

絵の本を楽しもう!

令和5年8月22日(火)に桜井市立桜井南幼稚園で絵の本ひろばが開催されました。家庭クラブ員と図書委員の計5名が参加。前日に本の展示の手伝いと絵の本ひろばの研修をさせていただき、当日はとても楽しくにぎやかに絵本や園児たちと触れ合うことができました。



大変貴重な経験をさせていただきました。

園児たちとの時間はとてもにぎやかで、すごくパワフルで、その熱気にあてられましたが、嫌な疲れではなく、どちらかという「やりきったー」という満足感のある疲労を感じました。

園児たちは眩しくなるほど自由で、想像力に満ちていて、日ごろのストレスやら何やらで忘れかけていた、何かを創り出すという気持ちを思い出させてくれました。表情は毎秒コロコロ変わり、喜怒哀楽がよくわかって大変可愛らしかったです。でもきっとその感想はその2~3時間だけを切り取っているから言えるのであって、実際に話しかけてくれたお母様は「なかなか育児に苦勞している」というようなことを仰っておられたので、「子供と向き合っ、その個性を受けとめる」ということは、思っている何倍も大変なのだと言葉の裏側に感じました。

他にも絵本を読んでいる時に「こころってなに？」と園児に訊かれたのがすごく印象に残っています。その時は一緒になんだろうねーと話しましたが、未だにふと思い出して「心とは…」と考えています。子どもというのは時々真理をついた発言をすることがあり、そのたびにハッとさせられます。絵の本ひろばを通して、子どもたちの大きな世界に触れることができ、つくづく「本ってすごい」と思いました。本当に素晴らしい体験だったので、また機会があれば何度でもやりたいです。

(2年4組 亀田美月)

絵の本いろいろの会の宮田和子氏、桜井南幼稚園、桜井市立図書館、ボランティアの皆さまには大変お世話になりました。